

愛知民報

2016年
12月18日
第2333号

発行所 愛知民報社
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月400円 郵送料164円 1部100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊
愛知民報を
周りの人に

参院選

改選議席倍増

2016

政治に新しい時代ひらく

日本共産党の躍進 「市民革命」の流れ発展

2016年は、安倍自公政権とその補完勢力に、野党と市民が対決する政治の新しい時代が始まりました。日本共産党は、愛知でも暴走政治に正面から対決。各種の選挙で前進し、論戦や要求を実現する運動に取り組み、現実政治を動かしています。1面で今年の日本共産党の躍進と活躍、4面で県民運動を紹介します。



初登院する(左から)田村智子、市田忠義、山添拓、岩淵友、武田良介、大門実紀史の各氏 = 8月1日、国会正面玄関

7月の参議院選挙で 良介比例候補が当選し日本共産党は、改選3から6に議席を倍増させました。同党は比例代表では、全国で60万票、県内で31万1967票を獲得。愛知を活動拠点にした武田



選挙協力の協定に調印した後、手を携える市民連合と推薦候補ら、右から2人目は日本共産党の、すやま初美候補 = 6月3日、愛知県庁

参院選では安民法制戦争法廃止、立憲主義回復という大義で一致する野党候補を推薦。安民法制廃止で共同する市民派・無党派の市議や「緑の党」がすやまさんを応援しました。

野党は共闘 参院選では安民法制戦争法廃止、立憲主義回復という大義で一致し、安倍政権打倒をめざす市民と野党の共闘がおこなわれました。全国32の1人区すべてで野党統一候補が実現、11選挙区で勝利しました。



わしの恵子愛知県議 = 3月4日、県議会本会議場



しもおく奈歩愛知県議 = 9月30日、県議会本会議場

住民要求を実現

2015年のいっせめていいます。日本共産党県議団は、安倍政権に追従する大村オール与党県政と対決。同党県議は県民要求を議会できりあげて採択されました。

名古屋市の日本共産党は、減税日本、公明党と並ぶ第3党に躍進。同党議員団がおこなった市政アンケートには、かつてない期待が寄せられています。

他の市町村の共産党議員団は、子どもや障がい者の医療費無料化、国民健康保険や介護保険の負担軽減、学校施設の改善などの成果をあげています。



地方議員選挙で全員当選



岡崎市議選で全員当選を喜ぶ。(左から)鈴木雅子、新免はるか、木全昭子の3氏。

今年、岡崎市の地方議員選挙で日本共産党は、2月の弥富市、4月の碧南市、扶桑町で現有議席を確保。10月の岡崎市では議席増を果たしました。同党は、「安倍暴走政治ストップ、憲法を生かしくらし・福祉第一の政治を」と訴え支持を広げました。

議席を2から3に増やした日本共産党岡崎市議団は、正式会派になり、代表質問や議会運営委員会への出席ができるようになりました。

同党はガソリン代や携帯電話代の名目で領収書なしで支給されていた政務活動費の改革を主張。交通費の支給方法が領収書や記録をもとに支給するように変更されました。

4面に続く